

報道関係者各位

特別展「東海道五十三次」で旅気分
箱根で楽しむ江戸時代の風景

6月9日(日)より開幕！



①歌川広重「東海道五十三次 箱根 湖水図」
江戸時代 天保4～5年(1833～34) ※前期展示



②歌川広重「東海道五十三次 小田原 酒匂川」
江戸時代 天保4～5年(1833～34) ※後期展示



③歌川広重「箱根温泉場ノ図・箱根湖上ノ不二」
江戸時代後期 19世紀中頃



④冷泉為恭「足柄山図」
江戸時代後期
19世紀中頃

岡田美術館(館長・小林忠)では、6月9日(日)開幕の特別展『「東海道五十三次」で旅気分 一富士に琳派に若沖も一』にて、歌川広重の保永堂版「東海道五十三次」全55図とあわせ、箱根と小田原にゆかりのある作品を展示いたします。

「東海道五十三次」シリーズにおいて箱根の風景は、険しい山を美しい色合いで表現した「箱根 湖水図」と、小田原城の背後に箱根の山々がそびえたつ「小田原 酒匂川」に登場します。どちらも手の込んだ作品で、旅する人々とともに当時の情景が色鮮やかに描かれました。広重最晩年の肉筆画であり、同じく箱根を題材とした「箱根温泉場ノ図・箱根湖上ノ不二」とあわせてご覧いただけます。

また、源義光の風流な説話を描いた冷泉為恭「足柄山図」や、小田原藩主・大久保侯に仕えた岡本秋暉の大作「孔雀図」も公開します。

東海道第十の宿場であり、最大の難所として知られた箱根に位置する当館にて、旅する気分で江戸時代の風景をお楽しみください。



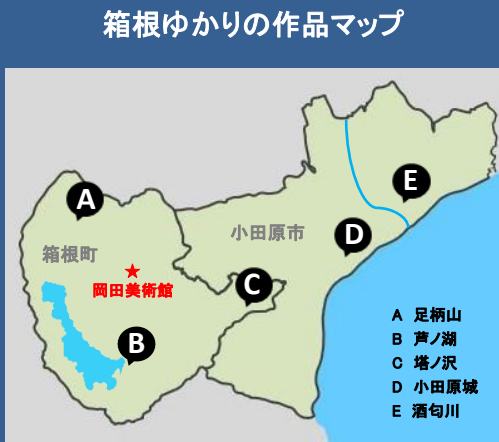
⑤岡本秋暉「孔雀図」
江戸時代 安政3年(1856)

ごさんねん えき

A: 後三年の役で奥州に向かう源義光が、足柄山の山中で笙という楽器を吹く様子を描いた「足柄山図」。



B: 箱根の山間を大名行列が進み、芦ノ湖の向こうからは雪をかぶった富士山が見守る「東海道五十三次 箱根 湖水図」は、シリーズにおいてとりわけ評価の高い一枚。



箱根ゆかりの作品マップ

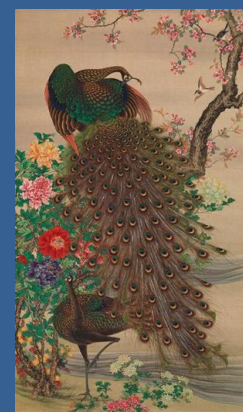
- A 足柄山
- B 芦ノ湖
- C 塔ノ沢
- D 小田原城
- E 酒匂川



C: 右幅は場所が特定できていないものの、箱根湯本近くの塔ノ沢を描いたと考えられている。左幅はBの「箱根 湖水図」と同じく芦ノ湖越しに見た富士山。広重は箱根を題材とした作品を幾つか残しており、「箱根温泉場ノ図・箱根湖上ノ不二」は天童藩織田家の依頼で制作された。



E: 「東海道五十三次 小田原 酒匂川」で描かれた酒匂川は、水量が増える夏場のみ徒歩で川渡しが行われた。



D: 小田原藩主に仕えながら「孔雀図」を描いた岡本秋暉。小田原城天守閣にも岡本秋暉の作品が所蔵されている。

江戸時代、幕府が関所を設けたこともあり箱根は宿場町として発展します。さらに、箱根七湯といわれた豊かな温泉地が人気となり、江戸時代後期には観光地として大変な賑わいを見せるようになりました。様々な作品の題材として描かれていることから、当時の人々は箱根に高い関心を寄せていたと考えられます。



＼6月9日(日)より開幕！／

「東海道五十三次」で旅気分
—富士に琳派に若冲も—

前期 2024年6月9日(日)～9月12日(木)

後期 2024年9月13日(金)～12月8日(日)

2024年は東海道五十三次の最後の宿場・庄野宿の完成から400年、また箱根駅伝第100回という東海道にとって節目の年にあたります。これを記念し、東海道第十の宿場であり、最大の難所として知られた箱根に位置する当館では、歌川広重「東海道五十三次」(保永堂版)を中心とした特別展を行います。

※「東海道五十三次」全55枚は前期・後期に分けて展示します。

館長・小林忠による講演会

3月23日(土)、開催中の特別展「金屏風の祭典 ―黄金の世界へようこそ―」を記念し、当館館長の小林忠による講演会「狩野派の金屏風」を行いました。熱心な聴講者が、約1時間半の話に聞き入りました。次回は「琳派の金屏風」講演会を開催します。



小林忠館長講演会 「琳派の金屏風」

申込
受付中

- 2024年5月11日(土)13:00~14:30
- 参加費無料(要入館料)、定員あり
- 事前申込制 TEL:0460-87-3931



3月23日(土)に行った講演会の様子

アソリュティマンド ショコラ ミュゼ オカダ

ピエール・エルメ・パリとのコラボレーションによる
限定チョコレートです。
ショコラの組み合わせは当館オリジナルとなります。

●商品について
アソリュティマンド ショコラ ミュゼ オカダ
5個入 2,800円/8個入 4,800円(税込)

●ピエール・エルメ・パリについて
21世紀のパティスリー界を先導するフランスの
パティシエ・ショコラティエ、ピエール・エルメ自らの
名前を冠したスイーツブランド。



岡田美術館について

岡田美術館は2013年10月、箱根・小涌谷に開館しました。全5階、展示面積約5,000㎡という屋内展示面積としては箱根随一を誇る広大な館内に、日本・東洋の陶磁器や絵画などの美術品を常時約450点展示しています。現代日本画家・福井江太郎氏によって描かれた風神・雷神の大壁画を眺めながら楽しめる100%源泉かけ流しの足湯カフェや、季節によって表情を変える庭園を眺めながら食事ができる「開化亭」などの付帯施設もお楽しみいただけます。



【岡田美術館に関するお問い合わせ先】

岡田美術館 広報担当:高橋・山本・川村 TEL:0460-87-3931 FAX:0460-87-3934 E-mail:pr@okada-museum.com

岡田美術館 広報用画像データ貸出申込書

広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- * 写真データの使用は本展覧会の紹介目的に限り、二次使用や改変（部分使用含む）は行わないでください。
 - * ご使用後 2 週間以内に、当館より貸与した写真データ（以下原データという）を記録した媒体は当館に返却のうえ、保有する原データ（作業上発生したすべての原データの複製物及び複製データを含む）は消去してください。
 - * web 掲載の際は「画像写真の無断転載を禁じる」旨を表記してください。
 - * 作品写真には「岡田美術館蔵」、作者名、作品名、制作年ほか当館の指定する項目を表記してください。スペースに限りがあり、すべての記載が難しい場合は別途ご相談ください。
 - * ご紹介いただく際は、本展の基本情報（日時・会場・電話番号・写真キャプションなど）の確認のため、校正を岡田美術館広報担当者までメールまたは FAX でお送りください。校正期間は中 3 営業日を基本として返答させていただきますので、期間に余裕をもってご送付ください。大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
 - * 掲載時のキャプションは、画像をお送りする際にお渡しする表記一覧をご参照ください。
 - * 下記素材以外の写真データが必要な場合は、別途お問い合わせ願います。
- プレスリリースをご参照の上、ご希望の写真 No. に✓印をお付けください。

✓	No.	掲載時のキャプション
	1	歌川広重「東海道五十三次 箱根 湖水図」江戸時代 天保 4～5 年（1833～34） 岡田美術館蔵 ※前期展示
	2	歌川広重「東海道五十三次 小田原 酒匂川」江戸時代 天保 4～5 年（1833～34） 岡田美術館蔵 ※後期展示
	3	歌川広重「箱根温泉場ノ図・箱根湖上ノ不二」（部分）江戸時代後期 19 世紀中頃 岡田美術館蔵
	4	冷泉為恭「足柄山図」（部分）江戸時代後期 19 世紀中頃 岡田美術館蔵
	5	岡本秋暉「孔雀図」（部分）江戸時代 安政 3 年（1856） 岡田美術館蔵

申し込みフォーム * フォームへの記入、もしくはお名刺の添付をお願いいたします。

貴社名			
媒体名			
ご担当者様名			TEL
部署名			FAX
E-mail			
ご住所	〒 —		
放送・掲載内容			
放送・掲載予定日	年 月 日	画像データ 必要期限	年 月 日
放映エリア／発行部数			
弊社社内ネットワークへの当該記事 PDF の掲載可否	可 / 否	その他、掲載条件	

★プレゼント用招待券をご希望の方は、別途広報担当にご相談ください